

令和7年度 第2回（通算第59回）山梨県立博物館運営委員会

日時：令和7年8月7日（木）午後3時～午後4時20分

場所：山梨県立博物館 生涯学習室

出席者

【運営委員】 相沢季里委員、市川美季委員、大隅清陽委員、末木健委員、中山誠二委員
※笹本正治委員は欠席

【文化振興・文化財課】 井筒文化振興・文化財課長、中野副主査

【博物館】 守屋館長、柳沢副館長、前田総務課長、近藤学芸課長、石神企画交流課長、
稲田総務リーダー、丸尾企画交流担当リーダー、山田資料情報担当リーダー、
海老沼学芸員、松田学芸員、日比野学芸員、山田学芸員、千原学芸員、
芦川主任

会議の次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶等
- (3) 審議
- (4) 報告
- (5) その他
- (6) 閉会

会議の概要

- (1) 開会
- (2) 挨拶等
 - 館長
 - 委員長
- (3) 審議【非公開】
 1. 令和8年度のシンボル展、令和9年度の企画展について
 2. 令和8年度の新規研究計画について※非公開理由：山梨県情報公開条例第8条第1号及び2号に規定する事項について審議等を行うときに該当するため（私信第3条第1項）
- (4) 報告【公開】
 1. 令和6年度の利用者状況について

2. 開催済み展覧会について
3. 資料・情報委員会の答申状況について
4. 韓国清州博物館との交流展示について
5. 山梨近代人物館の移転整備の状況について

(委員)

- ・山梨近代人物館という名称は、もう一切出てこないという理解でよいか。

(事務局)

- ・山梨人物探訪に模様替えするということでご理解いただければと思う。

(委員)

- ・「国分寺」について、市と協働する非常にいいモデルケースになったとあるが、シンボル展だけで終わらせないで、ずっと協力していただければと思っている。
- ・今回の20周年の企画全般で20周年という特色をどう打ち出すか質問をさせていただいたが、今回の甲府空襲に関していうと展示品が館の所蔵品が圧倒的に多く、地道に集めていただいたものが本当にうまく生かされたものだったということで、関係者として本当にうれしく思った。

(委員)

- ・それぞれ(展覧会を)見させていただいたが、非常に充実した展示が続いていて、特に武田勝頼の展示に20代ぐらいの人たちが結構いて、ゲームなどの全く違った入口から入ってくるような人たちのニーズにも応えていたのだと思う。
- ・甲府空襲も非常に関心が高く、南アルプス市ふるさと文化伝承館でも展示会を南アルプス市の戦争というテーマで開催したり、春日居でも毎年行っているものがあるが、県立博物館で企画展のような規模で、各地でどのような現象が起こっているかを総合的にとらえた企画展を行ってもいいのではと思っている。
- ・資料7(山梨近代人物館の移転整備)について、我々の前回の要望をよく聞いていただき、ようやく見える段階まできたと、感謝申し上げます。人物追加が合計20人程度ということだが、技術的な制約があるのか。

(事務局)

- ・施工業者の提案だと、もともと5人ぐらいという話であったが、もっと増やすよう要望し、現在の予算などの関係から、20人というのが最大の提案ということであった。

(委員)

- ・学芸員が入力しながら増やせるという内容のものではないということか。

(事務局)

- ・20人の枠内で、順次増やしていき、最終的に20人まで増やせるというイメージである。

(委員)

- ・予算的な問題はあると思うが、もう少し検討していただきたい。
- ・今現在の歴史資料収集基金の残金は、どれぐらいか。減少しているのであれば、いずれかの機会に積み増しというようなことを県に要望してもいいと思う。

(事務局)

- ・基金残高は3億3800万円余となる。

(委員)

- ・シンボル展の国分寺展については、国分寺が今日まで繋がっている様子がよくわかった非常に新しい展示だったと考えている。先ほどの意見のように、笛吹市で国分寺の整備計画を進めているが、県立博物館や考古学博物館にも、ぜひ協力をお願いしたい。
- ・勝頼展は素晴らしい展示で、様々な資料を集めて展示をしていただいた職員の方々に敬意を表する。
- ・シンボル展の甲府空襲についても、非常に良い展示だった。様々な地域で空襲や機銃掃射の被害を受けたようなので、1回は戦争展を開催することも必要だろう。また、南アルプス市ふるさと文化伝承館で行っている子供たちと戦争というような大きなテーマを扱うのも興味が引かれるのではないかと思う。
- ・近代人物館についても、ご苦労いただき、感謝申し上げます。さらに人物が追加できるような枠が設定できるのであれば、また引き続いて予算の交渉等をお願いしたい。

(5) その他【公開】

(事務局)

- ・ご審議いただき感謝申し上げます。
- ・資料収集委員会が昨日行われたが、収蔵庫を大きくした方がいいというような意見もいただいた。博物館の常設展示も、様々な制約事項があり、シンボル展も小規模な形を取っている。できれば大きく二期工事につながる動きができればいいと思っている。このような会議の中で、所蔵庫も含め増床についても、必要に応じてご提案いただけるとありがたい。

(委員)

- 増設については、この館ができたときからそういう要望をしてきたが、20年経ち、まさしく必要になっている。県の財政も非常に厳しいということもあるかもしれないが、山梨の貴重な歴史・文化を守っていくためにも必要だということを、ぜひお願いをしたい。
- 一度にではなくても、段階的に設備を整えていくということも、検討いただきたい。

(6) 閉会